

小学生による販売体験

今年も総合的な学習の一環で11月2日（木）は山内小学校6年生の皆さんが地元のブランド米「里山の夢」を、11月16日（木）は高野小学校4年生の皆さんが「高野大根」を販売。両日とも

道の駅たかの
（広報・企画グループ）
庄原市高野町下門田49
☎0824-86-3131
michieki_tak@takanoyama.jp
<https://www.takanoyama.jp>
★Twitter・インスタも更新中♪

大好評で、どちらも予定していた時間よりも早く完売しました♪

山内小学校の皆さんは、今回3回目の販売体験ということもあり、お客様への声掛けや商品のPR、お会計などとてもスムーズに行っており、わずか1時間で持って来たお米はほぼ完売。その様子を見ていた根波駅長からは販売終了後に「ぜひ道の駅たかののにスカウトしたい！」と講評がある程、見事な販売ぶりでした。

高野小学校の皆さんは初めての販売体験ということで始めは少し緊張した様子でしたが、好調な売れ行きに声も次第に大きくなり、12時までの販売予定でしたが、1時間も立たないうちに500本の大根が完売となりました。

今後もこのような体験学習を継続し、地域の子供達が地元の産品に興味を持ち、栽培～販売を通して、今後社会に出たときに必要となる力を養えるような機会を引き続き提供していきます。



山内小学校6年生の皆さん（前列）と根波駅長、生産者の里山の夢ファームさん（後列）



「日本一になったお米です！」の声に足を止めるお客様多数♪



事前にテレビ放送で予告があった効果もあり、なんと安芸高田や福山から買いに来られたお客様もいらっしゃいました！



高野小学校4年生の皆さん。無事完売し大変満足そうな様子でした♪

株式会社 藤谷 代表取締役 谷本 博一さん（平和町）

平和町で専業農家を営んでおります、株式会社藤谷の谷本と申します。元々は、先祖が小さな田んぼから稲作を始め、先代である父が2005年から徐々に規模を拡大していき、2012年には本格的に農業に取りかかりました。私はずっと兼業農家として働きながら農業に携わっていましたが、今年の9月より専業農家に転身しました。

現在は家族4人とアルバイト10人で農業に従事。主な作物については、米を16ヘクタール（コシヒカリ、ミルキーQueen、アキサカリ、あきろまんの4種）、広島菜を86アール、野沢菜を1ヘクタール栽培しており、広島菜の作付面積は、旧庄原市では最大となっています。最近じゃがいも（デジマ）を10アール程の圃場で栽培している他、ブルーベリーの親木が120本あり、化学肥料を一切使用しない有機栽培を行っており、今後はブルーベリー狩りなども企画していきたいと思っています。他にもサツマイモや菊の栽培なども行っています。



社長の谷本さん（写真中央右）とご家族・従業員の皆さん



旧庄原市では最大の作付面積を誇る広島菜の圃場の一部。JAに出荷され、広島菜漬として我々の食卓に並びます。

道の駅たかのへは、山菜を少し出してみようと思ったのがきっかけで出荷をスタート。また、今年から栽培を始めたじゃがいもは雪室熟成じゃがいも「熟じゃが」用として出荷しています。

昔は物を作っても売るところが少なく、販売先を探すのが大変でしたが今はしっかり販売先があるので有り難い限りです。

農作業についてはしんどくて当たり前で、しんどいけどやればやるだけ返ってくるので、収穫のときも「しんどい！しんどい！」とは言いながらも、みんなでワイワイ楽しくやっています。

サラリーマン時代と違い、専業農家は繁忙期以外ではわりと自由が利くので、好きなタイミングで休んだり、趣味の魚釣りへ行けたりと自分の生き方に合っているなと感じています。

今後は農業体験を通して、これからは担う子供たちにこそ、自然と向き合いながら収穫できたお米や野菜の大切さを伝えていけるような活動もしていきたいと考えています。